



from HIGASHIYAMA
東山

着物姿の小学生が抹茶でおもてなし

売っても買ってもハッピー

どんこ市でまちおこし

松川まちおこしMAXマーケット実行委員会(松川和夫代表)が主催する「どんこ市」は11月3日、松川郵便局前で催されました。藩政時代の市を再現し、地域の活性化を図ろうと、若者が主役の地域おこし事業を活用して昨年に引き続き開催したものです。

誰でも出店できるとあって古着やおもちゃ、野菜や果物など多彩な品物が並び、午前10時の開場前から多くの買い物客でにぎわいました。

玉子プレゼント企画や東山町商工会青年部による綿あめ無料コーナーは大盛況。来場者の長蛇の列ができていました。

from MURONE
室根



上/仮宮を目指して先着を争う本宮新宮の両みこし殿様
左/にこやかに手を振る褰まつりのお殿様

現代によみがえる古典絵巻

室根神社特別大祭

東北名代荒祭りの一つ、室根神社特別大祭は10月26日から28日までの3日間、古式ゆかしく催されました。

養老2(718)年に紀州熊野大社から分霊を勧請して以来、1289年の歴史を持ち、本宮と新宮の2社が祭られている室根山(895m)の8合目に位置する室根神社。祭りは本宮勧請の様子を再現したもので、祭りに奉仕する神役も代々その子孫が当たり、天平元(729年)年から今日まで、ほぼ当時の様子そのまま継承されています。

今年は大名行列を再現する褰先陣不参加だったものの、二日目からは、大先司、17騎の荒馬先陣、御袋神社、7騎の褰まつりが揃い、馬場巡りや町内巡行が行われ、観衆を魅了しました。

最終日は、初日から降り続けた雨もやみ、秋冷の澄み切った青空の下、国の重要無形民俗文化財に指定されている「まつりパ行事」が行われました。午前4時過ぎ、室根神社から本宮、新宮の両みこしを陸尺が担いで険しい参道を駆け下り、祭場の仮宮を目指して勇壮な先着争いが繰り広げられました。両みこしは仮宮にほぼ同時に安着し、仮宮遷宮や舞姫による浦安の舞奉納が行われました。

このほか、協賛行事として打囃子や大祭マラソン、創作太鼓フェスティバルも行われ、3日間の特別大祭に花を添えました。

祭りは、勧請が旧暦年の翌年の旧暦9月に行われた故事に基づき開催。次回は平成22年に催されます。

“プロの技”じかに学ぶ

ふるさと花泉会少年野球教室

ふるさと花泉会(黒澤功記会長)が主催する少年野球教室とゴルフレッスン会は10月27日、行われました。このうち少年野球教室は花泉第2体育館で催され、町内7地区から120人のスポーツ少年団員と監督、コーチが参加しました。

講師を務めたのは、元巨人軍の水野雄仁さん、佐野元国さんの二人。参加者は真剣な面持ちで、投球と打撃の指導を受け、保護者は「元プロから指導を受けられて子どもたちは幸せ」と感激した様子でした。終了後、両講師にサインを求める長い列ができ、二人は子どもたちとにこやかに握手を交わしていました。



from HANAIZUMI
花泉

佐野さん(左)から打撃の指導を受けるスポーツ少年団員

from SENMAYA
千厩



心地よい汗をかきながらごみ拾いを行う団員

「ありがとう」を込めて

奥玉ソフトボールスポ少が清掃奉仕

奥玉ソフトボールスポーツ少年団(団員20人)は11月10日、シーズンオフを前に恒例となっている地域内の市道約12kmの清掃奉仕活動を行いました。

時折吹く木枯らしの中、4グループに分かれた団員らは、沿道に捨てられた空き缶やペットボトル、たばこの吸い殻などを拾い集めました。主将の佐藤瑠美さん(5年)は「いつも応援してくれる地域の方へ感謝の気持ちを込めて作業しました。思ったよりたくさんごみがありました」とごみの多さに驚きながらも、日ごろの恩返しのできたことにさわやかな笑顔を見せました。

弾けるパワー、華麗な衣装

Yosakoi フェスタ in 一関

市の「若者が主役の地域おこし事業」を活用した「いわいの里Yosakoi フェスタ in 一関」は10月21日、大町通りで催されました。市内の3団体による「いわいの里YOSAKOI 連合会」が運営の中心を担い、昨年に引き続き2回目となる今回は、岩手、宮城、秋田の3県から合わせて26団体435人が参加。力強く振られる巨大な旗をバックに、鮮やかな衣装をまとった踊り手たちは、オリジナルも交えた曲と振り付けでパワーあふれるよさこいを披露し、沿道の観客から盛んな拍手を浴びていました。フィナーレは、観客も飛び入りしての総踊り。大町通りはよさこいのリズムに躍動する人たちであふれました。



キメもパッチリ!26グループが大町通りに躍動しました

from ICHINOSAKI
一関



「食の作品」を前に思い出が弾んだ見学者

思い出の味懐かしむ

京津畑まつり「食の文化祭」

「食の文化祭」(実行委員長・菊池建京津畑自治会長)は11月11日、旧京津畑小体育館を会場に催されました。今年で10回目を迎える同文化祭には、地元住民による家庭料理や山菜料理など210点もの「食の作品」が展示されました。県内外から訪れた大勢の見学者はふるさとに伝わる温かい郷土料理に触れ、懐かしいおふくろの味に感動していました。郷土芸能や興田中吹奏楽部の演奏も披露され、「果報団子」や「そば切り」が振る舞われました。

菊池実行委員長は「自然との共存の中で誕生した食文化を大切に、心にしみる郷土食を後世に伝えたい」と語り、秋深まる山間の集落は活気に満ちあふれていました。

from DAITO
大東

地域の安全自分たちで

千手堂自主防災会が防災資器材購入

千手堂自主防災会(小竹正直会長、62世帯)は、自治総合センターの「宝くじの普及広報事業」コミュニティ助成事業を活用して投光機、担架、ヘルメット、レスキューキットなどの自主防災活動用資器材を購入し、千手堂公民館に配備しました。

10月14日、購入した資器材のお披露目を兼ねて防災講習会が千手堂公民館で催され、約50人が参加。一関東消防署川崎分署職員が講師となり、各家庭での防災チェックポイントなどについて学びました。「防災に絶対の安全はなく、安心しては駄目」との話し、参加者は日ごろの備えの大切さを再認識しました。



災害発生時に備え、防災資器材を購入しました

from KAWASAKI
川崎